

Doing more with less



高耐食パネルライニング

既設塔槽をリフォームしてみませんか？

耐酸・耐アルカリ 各種プロセス

既設の大型塔槽を高耐食仕様にリフォームします。



① パネル製作



② 貯槽 内面施工



③ 蓋 内面施工



④ 蓋板取付



⑤ 検査



⑥ 完成

既設設備の再利用・コスト節減

上写真①～⑥は【クラッドパネル ライニング工法】での現地施工例です。直径9m×高さ8.7mのステンレス製貯槽について、ユーザー様の用途変更により「耐酸性を持たせて使用したい」というニーズが生じました。旧設備解体～新規製作という選択肢の代わりに、当工法にてジルコニウムの内張りによりリフォーム。

- ・プロセスが要求する耐食仕様
- ・コストダウン
- ・納期短縮
- ・廃棄物量の低減

一石何鳥もの、大変合理的なソリューションです。

新作・大型設備をパネル工法で

勿論リフォームだけではなく、新作での施工実績も多数ございます。国内では道路交通法により、陸送可能範囲＝トラック積荷高さが規制されている都合上、自社工場内で完成品と出来る塔槽の最大径には「3.7mまで」という制約がございます。それを超える大型品は、分割製作したパネルを内作りし現地へ搬入、鋼製塔槽の内面にライニング施工いたします。加工上の自由度がきわめて高いため、さまざまな形状・大きさ・用途に適用できます。

優れた安全性（災害対策にも）

金属の持つ優れた堅牢性により、地震等の災害時にも機器の損傷を最小限に抑えられます（樹脂・ガラス等の防食ソリューションに比べ安全マージンが大きく取れます）ので、薬品流出等の災害防止効果が期待できます。

また通常の作業時に於いても、グラスライニングと比較した場合メンテナンスが容易であること（例：工具、部品の落下などでクラックが入る様な心配からの開放）、樹脂性と比較して経年劣化に強いことから、現場保全担当者の安全性向上、負荷軽減に貢献します。

▼施工例：廃硫酸処理用ピット(新作)



4.4m×3m×16.4m SS400 (t9～t14) + 内面 Zr (t1.0)

- ◇ 選定可能な耐食材: チタン・ジルコニウム・ニオブ・タンタル等
- ◇ 施工可能な塔槽の材質: 鋼材・ステンレス材

